独創的な音声編集方法

課題の手順

1. アレンジメントビューで音声を編集できるように事前の準備をしておきましょう。
2. 独創的に音声を編集するための機能とショートカットキーを活かして、自分だけのフレーズを作りましょう。
3. 作ったフレーズをセッションビューで使えるようにクリップへまとめましょう。

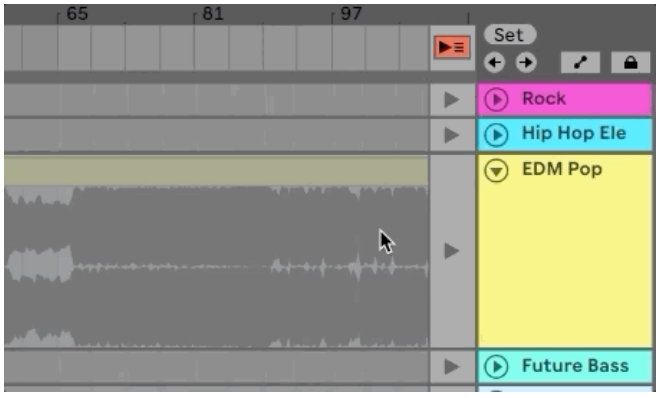
手順1
アレンジメントビューで音声を編集できるように事前の準備をしよう

アレンジメントビューで音声を編集するときは、問題なく作業を進められるように準備をしておきましょう。

アレンジメントビューをふたたび再生するためのボタン[▸☰]をクリックする

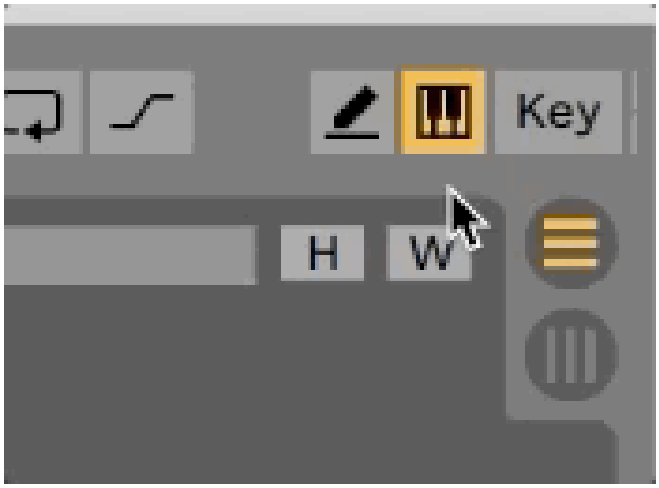
アレンジメントビューで音声を再生できるようにするには、そのためのボタン[▸☰]をクリックします。

セッションビューでクリップを再生すると、アレンジメントビューの音声を再生できなくなります。アレンジメントビューで音声を再生するには、[▸☰]をクリックするのを忘れないようにしましょう。



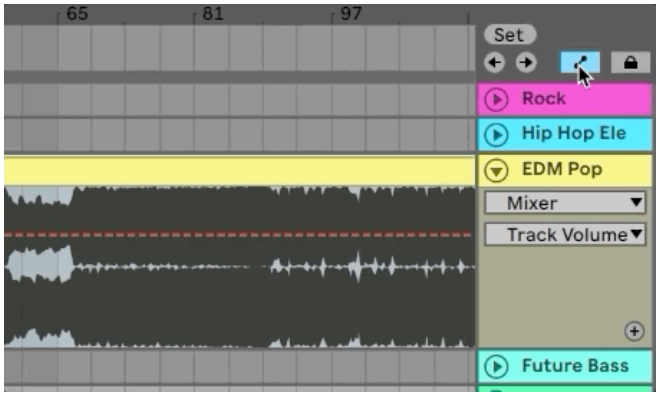
【ポイント】[▸☰]をクリックすると、アレンジメントビューのトラックを再生できるようになります。

コンピュータ**MIDI**キーボードを無効にする



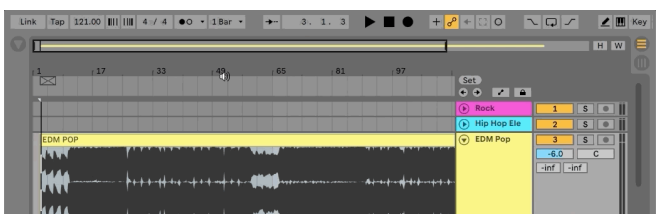
Liveの画面右上にある鍵盤アイコンを有効にすると、コンピュータのキーボードを鍵盤として使用できるようになりますが、大半のショートカットキーを使用することができなくなります。ショートカットキーを使用できるように、鍵盤アイコンを無効にしておきましょう。[M]キーを押しても、有効／無効を切り替えることができます。

オートメーションを非表示にする



音声の編集をするときは、オートメーションを非表示にしておきましょう。オートメーションの表示／非表示を切り替えるには、ボタン[ ]をクリックします。

[A]キーを押しても、オートメーションの表示／非表示を切り替えることができます。



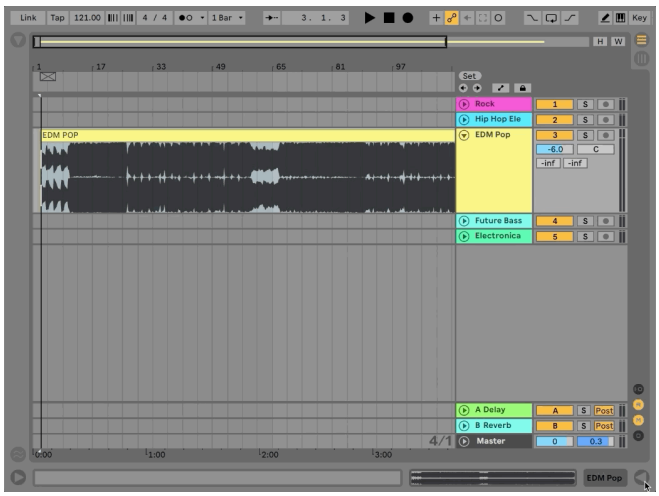
詳細ビューの表示／非表示を切り替える

Liveの画面右下にあるボタン[▲]をクリックすると、詳細ビューを非表示にすることができます。

詳細ビューを非表示にすることで、広い画面で音声編集の操作を行えるようになるほか、どのクリップの音声を編集しているのか把握しやすくなります。

拡大して表示する

[Z]キーを押すと、選択中のクリップを拡大して表示することができます。

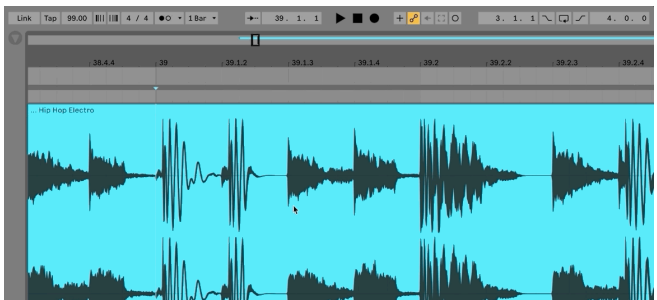


手順2
独創的に音声を編集する機能とショートカットキーを使おう

ここに紹介している音声編集の機能やショートカットキーは、さまざまな方法で楽曲の一部を編集して並べ替えて、マッシュアップをよりおもしろく独自なものに仕上げるときに便利です。

クリップの分割／コピー／ペースト

[Cmd + E]キー（Mac）／[Ctrl +



E]キー（Windows）を押すと、選択している範囲内にあるクリップを分割することができます。

[Cmd + C]キー（Mac）／[Ctrl + C]キー（Windows）を押すと、選択している範囲内のクリップをコピーします。

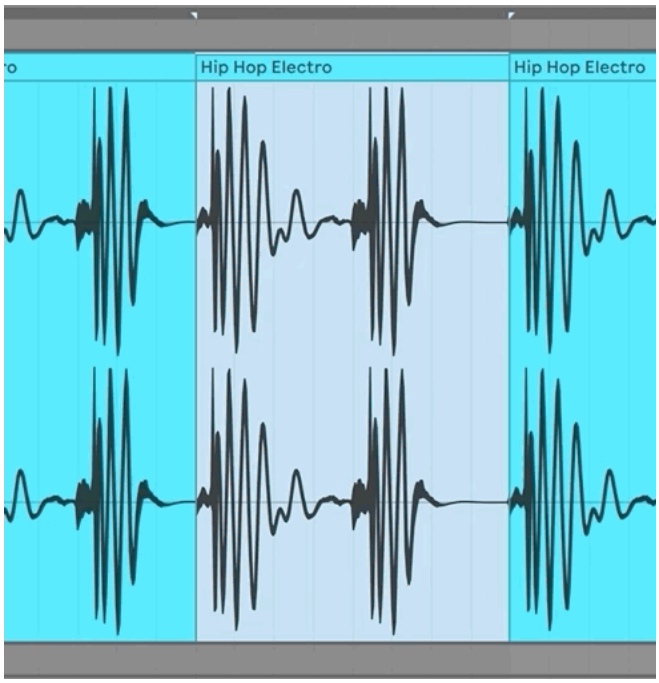
[Cmd + V]キー（Mac）／[Ctrl + V]キー（Windows）を押すと、選択している範囲内のクリップを貼り付けます（ペーストします）。

【ポイント】さまざまなドラムの音声をコピー／ペーストして並び替えて、新しいフレーズを作ってみましょう。

クリップ内で音声を動かす

[Shift + Cmd]キー（Mac）／[Shift + Ctrl]キー（Windows）を押したまま、クリップ内をドラッグすると、クリップ内で音声の位置を動かすことができます。

【ポイント】クリップ内で音声をドラッグすると、意外なおもしろいフレーズを得られることがあります。



クリップをドラッグして並び替える

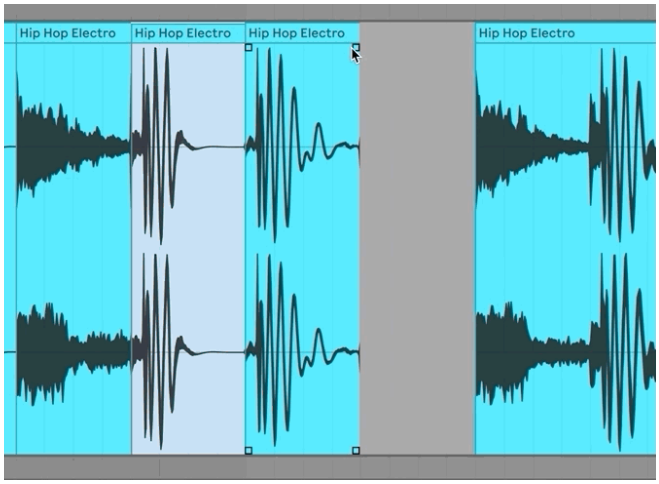
クリップのタイトルバー（クリップの名前が書いてある部分）をドラッグすると、そのクリップを移動してクリップの順番を並び替えることができます。

【ポイント】ドラムの音だけでなく、和音のフレーズも自由に並び替えてみましょう。



フェード機能

オーディオクリップの上にマウスポインタを移動すると、オーディオクリップの両端に小さな四角が表示されます。この四角のことをフェードハンドルといいます。オーディオクリップの両端上部にあるフェードハンドルをドラッグすると、そのクリップの音量を徐々に大きくしたり、小さくしたりすることができます。音量を徐々に大きくしたり、小さくしたりすることを、フェードといいます。



【ポイント】フェードを設定すると、クリップの始まりと終わりで発生する“プッ”という小さなノイズを防ぐことができます。それ以外にも、フェードを使うと波打つような音を作ることができます。

音声を反転させる

[R]キーを押すと、選択した範囲に含まれるクリップの音声を反転させることができます。

【ポイント】長く鳴っているピアノの和音やクラッシュシンバルの音は、反転するとおもしろい音になります。



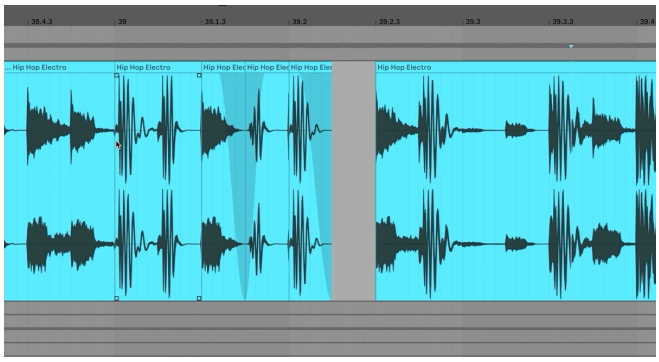
手順3

セッションビューで使えるように音声をクリップにまとめよう

授業3で行うマッシュアップの演奏では、セッションビューでクリップを再生します。その準備として、アレンジメントビューで編集した音声をセッションビューで使えるようにクリップにまとめましょう。

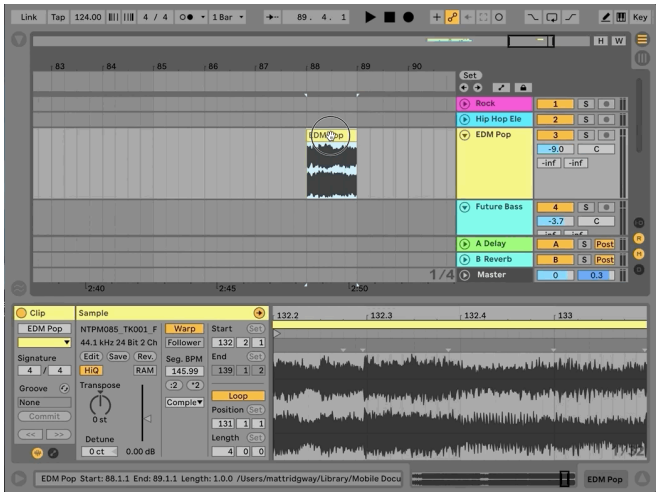
次に紹介しているのは、編集した音声をクリップにまとめてアレンジメントビューからセッションビューに移す方法です

クリップを結合する



クリップの並び替えや編集によってお気に入りのフレーズができあがったら、その部分を選択してひとつのクリップに結合しましょう。[Cmd + J]キー（Mac）／[Ctrl + J]キー（Windows）を押すと、選択している範囲に含まれるクリップを結合することができます。

アレンジメントビューからセッションビューにクリップを移す



アレンジメントビューで作成したクリップをセッションビューに移す方法はいくつかあります。

1. アレンジメントビューのクリップをドラッグしているあいだに、セッションビューへ画面を切り替えるボタン[⫼]をクリックする（ボタンは画面右上にあります）。
2. アレンジメントビューのクリップをドラッグしているあいだに、[Tab]キーを押してセッションビューへ画面を切り替える。
3. [Cmd + C]キー（Mac）／[Ctrl + C]キー（Windows）を押してアレンジメントメントビューのクリップをコピーする。次に[Tab]キーを押してセッションビューに画面を切り替える。そして[Cmd + V]キー（Mac）／[Ctrl + V]キー（Windows）を押してクリップをペーストする。

選択した範囲に含まれるクリップを結合して新しいシーンに移す

複数のトラックでクリップを編集しているときは、トラック別にクリップを結合してセッション

ビューのシーンに移す方法があります。まず、複数のトラックにわたって範囲を選択します。次に、Liveのメニュー[作成]のコマンド[時間を新規シーンへと結合]をクリックします。すると、選択範囲に含まれているクリップをトラック別に結合して、セッションビューのシーンに移すことができます。

【ポイント】LiveのIntroエディションやLiteエディションをお使いの場合は、8シーンまでしか使用することができません。そのことを注意して、[時間を新規シーンへと結合]を使うようにしましょう。

